「アマメハギ」　毎年２月３日

能登町長　持木一茂

新年あけましておめでとうございます。

東京奥能登応援団の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、能登町の行政運営に多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめにお知らせがあります。

能登町秋吉地区の「アマメハギ」が「来訪神　仮面・仮装の神々」として、秋田県のナマハゲを含む全国の10件の来訪神とともに、昨年11月にユネスコ世界無形文化遺産に登録されました。町としては「アエノコト」に続く登録となり、これまで守ってきた町の伝統文化がまた一つ世界に知られる大変喜ばしい出来事となりました。

さて、能登町の冬といえば「のと寒ぶり」です。のと里山空港の手荷物ターンテーブルでも能登町の豪快なブリの模型が期間限定で見ることができます。これは、飛行機を利用された皆さんに能登の特産品をアピールしたり、イメージを定着させることを目的に能登の９市町が昨年の４月から合同で行っている取り組みです。帰省の際はぜひスマートフォンなどに収めていただければと思います。

また、「宇出津港のと寒ぶりまつり」を１月20日に開催します。今年も新鮮で脂の乗った10キロ超級の地域ブランド「宇出津港のと寒ぶり」の解体ショーとその振る舞いをはじめ、美味しく温まるグルメテントや楽しい企画をご用意していますので、ぜひお越しください。

次に町の動きについてですが、建設中の能登町役場新庁舎と柳田・内浦総合支所は、本年中には完成し、２０２０年１月より業務開始を予定しています。また、新しい観光・交流拠点施設として「のと九十九湾観光交流センター」などを建設します。能登町の歩みが具現化していく重要な一年と考えています。

最後に、皆様方にとりまして、本年も健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

お待ちしています　能登町イベント情報ピックアップ

◎のと寒ぶりオブジェ

1月28日(月)まで
のと里山空港

▲のと寒ぶりのオブジェはおよそ縦 70 センチ、横 50 センチ、高さ 40 センチ。手荷物ターンテーブルを回り魅力を PR。皆様をお迎えします

◎春のあえのこと

2月9日(金)11時頃～
柳田植物公園ほか

▲昨年 12 月に家に迎え入れた田の神を春の耕作に向けて送り出す行事。タラの子付けなど早春の食材でもてなし、今年の豊作を祈ります